

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取組み（実施事業など）	令和3年度予算（千円）	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
1	ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	蔓延期	読売巨人軍春季キャンプの実施	—	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有観客によるキャンプ実施。 球場へ入る方は「来場者登録」を実施。 来場者全員に手指消毒と座席消毒用の除菌シート配布。 応援時は新しいスタイルでの応援を推奨「ナイスプレーには拍手を送ろう」「タオルを掲げてエールを送ろう」 <p>【実績】</p> <p>キャンプ期間中（2/14～25）来場者数 16,004名 大きな混乱を生じずに来場者の入場整理、感染症発症者の管理を実施できた。</p>	<p>【評価】</p> <p>読売巨人軍や沖縄県等と連携し、可能な限りの感染対策を実施した上で2年ぶりの有観客のスポーツキャンプを実施できたことは、今後のウィズコロナ時代におけるイベント開催の一つの事例になったと評価している。</p> <p>【今後の方針】</p> <p>引き続き、関係団体等と連携し受入環境整備に努める。</p>	観光課
2	ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	蔓延期	那覇市商店街誘客促進事業補助 事業概要 商店街・通り会が回復に向けて誘客を図ろうとする取組みを支援	<p>予算額 20,000</p> <p>補正減後 13,692</p> <p>実績 9,151</p> <p>繰越 0</p>	<p>【実施内容】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店街・通り会が回復に向けて誘客を図ろうとする取組みに支援（補助金）</p> <ul style="list-style-type: none"> マスク等を購入できる感染防止対策のための補助メニューを追加し、商店街・通り会の感染防止対策にも取り組んだ。 <p>（補助内容）</p> <p>①イベント補助事業、②クーポン補助事業、③協賛補助事業 ④感染防止対策補助事業 →商店街の規模（会員店舗数）に応じた補助額を設定（最大55万円） ※昨年度（令和2年度）にも実施した「那覇市商店街新型コロナウイルス感染症対策支援事業」と同様の内容。</p> <p>【実績等】</p> <p>○交付決定数：18件（令和4年3月末現在） ①国際通り商店街振興組合連合会、②壺屋やちむん通り会、他16件内、①イベント補助事業：5件、②クーポン補助事業：1件、③協賛補助事業：1件、④感染防止対策補助事業：11件</p>	<p>【評価】</p> <p>感染対策費用の補助は申請が多く、感染防止対策に取り組むことができた。クーポン事業では宿泊・消費喚起につながり、各観光関連事業者への支援を行うことができた。イベント補助事業は5件に留まったが（うち1件はまん延により中止）、多くの人が訪れ、商店街・通り会の各店舗への誘客へとつながった。</p> <p>【今後の方針】</p> <p>単年度事業のため終了</p>	なはまち振興課
3	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(1)消費・宿泊需要喚起	回復期	市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業 （那覇とまーるクーポン）	460,000	<p>【実施内容】</p> <p>市内の宿泊施設、土産品店及び体験型観光コンテンツで利用できるクーポンを発行することで域内の需要喚起を図り、地域経済の循環促進を図ることを目的とする。</p> <p>【実績等】</p> <p>宿泊 登録施設数 160 利用人数 36,774人 補助（クーポン）額 180,568,084円</p> <p>土産 登録店舗数 159 利用件数 のべ398件 補助（クーポン）額 93,740,500円</p> <p>観光体験 登録店舗数 48 利用件数 のべ90件 補助（クーポン）額 26,586,000円</p> <p>R4年1月5日から実施予定のとまーるクーポン事業第2弾（宿泊のみクーポン）について、感染急拡大により事業開始を延期し、。更にまん延防止等重点措置の適用を受けたことで事業中止を決定。事業未実施の第2弾予算について事業費を今年度へ繰り越し、実施予定。</p> <p>（予算内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月補正予算額（宿泊割引及び土産・観光体験クーポン2万枚部分のみ）180,000千円（宿泊100,000千円、土産20,000千円、観光体験60,000千円） 予備費充用予算額（宿泊割引及び土産・観光体験クーポン2万枚部分のみ）180,000千円（宿泊100,000千円、土産20,000千円、観光体験60,000千円） 11月補正予算額（宿泊割引2万枚部分のみ）100,000千円（宿泊100,000千円、土産・観光体験クーポンは年度内で利用期間や精算期間を設定するのが困難なため実施無し） <p>・繰越額 104,000千円</p>	<p>【評価】</p> <p>コロナ禍で宿泊・観光消費が伸び悩む中での本事業実施は市内多くの宿泊・土産・観光体験の需要創出に一定の効果があったと考えている。令和2年度実施時に課題となった一部宿泊施設への利用集中に対して「利用上限数、または、収容人数の5倍」に達したら利用制限するなど宿泊者の偏りを避けてできる限りの公平性に配慮した。しかしながら、宿泊施設が従来より宿泊機能のみに特化した宿泊施設等では利用がない状況があった。</p> <p>引き続き検討が必要な課題として、予約期間開始直後に予約時に必要なD取得のためにWEBシステムへアクセスが集中しシステムダウンへの対処がある。</p> <p>【今後の方針】</p> <p>引き続き、一部宿泊施設への利用集中の回避による事業者間の公平性確保に努める。また、システム業者とも事前に対策を協議し、利用者が快適に予約手続きを行えるよう準備を行う。</p>	観光課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取り組み（実施事業など）	令和3年度予算（千円）	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
4	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(1)消費・宿泊需要喚起	回復期	市内貸切バス事業者支援事業	25,000	<p>【実施内容】 新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光需要低迷に伴い、利用が激減している貸切バスの利用料の一部を補助することで利用促進を図り、貸切バス事業者支援につなげることを目的とする。</p> <p>【実績等】 ○補助対象期間は11月18日（木）から2月21日（月）で一台あたり運賃料金の8割、65,000円を上限に補助を行う。利用可能バス事業者は市内に本社または営業所があるバス事業者で、利用対象は那覇市民または市内所在の団体や事業者等。1月9日（日）から沖縄県にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、事業停止。事業停止のまま事業実施期間終了した。 事業執行率：44% 残予算は次年度へ繰越し。</p>	<p>【評価】 利用者からの好意的な意見が多く、補助があることでコロナ対策での増車が可能となり、遠方への利用にも寄与した。事業者支援の面からも利用促進につながったと思う。</p> <p>【今後の方針】 R3年度繰越し事業としてR4年度も引き続き事業支援につなげる。</p>	観光課
5	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(1)消費・宿泊需要喚起	回復期	那覇市地域消費促進事業（なは買エール商品券）	380,410	<p>【実施内容】 新型コロナウイルス感染拡大が続く中、売上減少等の影響が生じている市内飲食店や小売業、サービス業等の店舗や事業者を支援するため、プレミアム付き商品券発行により域内の幅広い業種の横断的な消費喚起を行い、中小事業者の事業継続及び域内消費の拡大を図ることを目的に、実施事務局となる事業者を選定し、委託により実施する。発行総額1億1億7千万円</p> <p>【実績等】 ○11月29日に利用開始（令和4年2月末まで）。市民への優先販売を経て、市民・県民向けに2次販売を実施し完売している。 登録店舗：1,852店舗（※令和3月末時点）。</p>	<p>【評価】 ・電子、紙の両方で利用率が99%を超えており、事業目的である消費喚起に繋がった。</p> <p>【今後の方針】 ・単年度事業のため終了</p>	商工農水課
6	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(1)消費・宿泊需要喚起	回復期	那覇市商店街誘客促進事業補助		No.2と同じ		なはまち振興課
7	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇市コロナ対策事業刷新支援事業	15,000	<p>【実施内容】 市場事業者の倒産の回避や雇用を守ることを目指しながら業態転換や新事業への挑戦等、新たな取り組みに要する経費の一部を支援することにより、市内事業者の事業継続や成長発展及び、地域経済の振興に資することを目的とする。 ・予算額：15,000千円（補助金） ・1事業者最大100万円（補助率2/3）15事業者想定。</p> <p>【実績等】 2期に渡る公募を実施した結果、合計で20件（法人11件、個人9件）、総額14,006,000円の補助金を交付した。</p>	<p>【評価】 採択事業者は飲食業、小売業、旅行業等が中心であり、交付件数が20件（申請件数40件）と、当初の想定件数を上回る申請があり、より多くの市内事業者へ支援が実施できたと評価する。</p> <p>【今後の方針】 高いニーズを踏まえ、予算増額を検討する。</p>	商工農水課
8	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇の名産品・特産品魅力発信事業	7,000	<p>【実施内容】 新型コロナウイルス感染症で大きく落ち込んだ本市の名産品・特産品の魅力を「那覇ブランド」と銘打って情報発信し、売上及び消費拡大やブランド力向上を図ることを目的に、主に県外消費者向けに既存の情報発信サイトを活用したPR活動や、ECサイトと連動した情報発信から購入に繋げるための仕組み構築（情報発信・ECサイトへの誘客取組み）等を委託により実施する。</p> <p>【実績】 ○令和3年10月～令和4年2月の間、特設サイト「那覇市すぐりむん市場」をショッピングモール「47CLUB」内にオープンさせ、市内事業者の商品販売やPR等を実施した。「那覇市すぐりむん市場」特集ページ閲覧者数13,440PV、売上合計1,443,605円。</p>	<p>【評価】 総事業費の50%以上の売上を目標にしていたが、達成できなかった。しかし、購入者の75%が県外利用者であることから、県外向けの消費拡大、ブランド力向上という点では一定の効果があった。</p> <p>【今後の方針】 単年度事業のため終了。</p>	商工農水課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取組み（実施事業など）	令和3年度予算（千円）	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
9	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	市内中小企業経営実態調査	5,578	【実施内容】 本市中小・小規模事業者の経営に関する実態調査を行い、事業者が抱える経営課題や支援ニーズについて把握し、適切な振興施策立案を行うことを目的に、委託にてアンケート調査・ヒアリング調査を実施する。 【実績】 ○現在、市内事業者に対するアンケート調査票を送付。アンケート調査と併せヒアリング調査を実施、内容分析し報告書を作成。	【評価】 前回調査時(H29年実施)と比較して回収率を向上(11%→18%)させることができたため、より精度の高い調査とすることができた。 【今後の方針】 市内事業者の実態や課題等を踏まえた施策展開につなげる。	商工農水課
10	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇市「雇用を守る」事業者支援事業	304,000	【実施内容】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、月次支援金又は時短等要請協力金の支給対象となった事業者及びこれに相当する影響を受けた事業者へ、雇用の継続等のために行う従業員の待遇改善又は福利厚生充実等の取組みに対する応援給付を行う。 【実績】 申請件数 1,047件 支給総額 210,502千円	【評価】 申請件数は想定に達しなかったものの給付金の執行率は87%と想定に近い水準であったことから、事業者が雇用継続等を目的として行った取組みに対し、一定程度支援ができたものと評価する。 【今後の方針】 単年度事業のため終了。	商工農水課
11	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	NAHAMARASONコロナ対策支援事業	5,000	【実施内容】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により昨年に引き続き今年度の大会も延期となっており、収入減少による厳しい運営状況となっているNAHAMARASON協会の体制維持を支援することで、県外からの参加者も含め3万人規模の大きなイベントであるNAHAMARASONの大会実施に必要な体制を維持できるよう支援を行う。 【実績等】 ○代替イベントとして「絆2021 ON-LINE NAHAMARASON ラン&ウォーク」実施、参加者への返礼品購入に係る費用を補助対象として交付。参加目標5,000名に対し4,368名の参加申込（昨年実績2,571名）があり、申込者全員に沖縄お土産お菓子セット並びに次回第36回NAHAMARASONへの出場権をプレゼント実施。	【評価】 コロナ禍によりリアル開催が困難であった本大会を、次年度以降継続して開催できるように組織体制維持や本大会を心待ちにしていたジョーカーのモチベーション維持の観点から代替大会への支援は効果的だったと考える。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況によるが、リアル大会開催に向け、大会事務局等と連携して取り組む。	観光課
12	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇市商店街活動支援補助金	予算額 8,800 補正減後 5,000 実績 5,000 繰越 0	【実施内容】 長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、商店街・通りは地元客及び観光客の減少により閉店や休業を余儀なくされる会員店舗が少なく、会費の減免等による収入の減少による商店街・通りの存続にも危機が生じている。これに対して給付金で支援することで通り会等の存続及び活動等の運営を支援する。 （対象）現在活動中の商店街・通り会 （給付内容）現在活動中の商店街・通り会に対する一律給付 会員店舗数に応じて給付（最大50万円） 【活用状況】 ○交付決定数17件（令和4年3月末現在） 中心商店街：16件 地域商店街：1件	【評価】 会員店舗数に応じた支援金の給付を行ったことで、感染防止対策のための費用や、イベント開催時の自己負担等の費用に充てるなど、通り会等の存続及び活動等の運営を支援できた。 中心商店街以外の商店街からの申請が1件しかなく、想定していた件数には及ばなかった。元々申請が少ない地域ではあるが、コロナ禍において商店街・通り会活動ができない、または停止しているものと考えられる。 【今後の方針】 単年度事業のため終了	なはまち振興課
13	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(3)新たな観光コンテンツ創出支援	平時	未実施	—	—	【今後の方針】 ・事業者が連携して取り組み、早朝・夜間におけるコンテンツ開発に係る費用を支援する。	観光課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取組み（実施事業など）	令和3年度 予算（千 円）	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
14	ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-(1)県内旅行の推進	回復期	市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業 (那覇とまえるクーポン)		No.3に同じ		観光課
15	ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-(2)都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進	平時	那覇市テレワーク推進施設開設支援事業	20,163	<p>【実施内容】 テレワーク推進施設の整備・利活用に対する経費の一部を補助することで、県外企業の進出や新たな生活様式に対応した多様な柔軟な働き方の促進、新ビジネスや産業の創出促進を図り、地域経済産業の振興・発展に寄与することを目的とする。 ・予算額：20,163千円（補助金等） ・補助限度額：1事業者10,000千円 (施設整備等9,000千円、利活用促進事業1,000千円)</p> <p>【実績】 以下2事業者へ補助金交付対象事業者として決定。 ○沖縄セルラー電話株式会社 沖縄セルラーフォレストビル（旭町在） ○株式会社コア沖縄 カフーナ旭橋A街区（泉崎在。那覇オーバ3階）</p>	<p>【評価】 当初の想定通り、県外企業の進出を目的とした2か所のテレワーク推進施設整備補助を行った。開設後、現時点で県外企業8社の進出があり、本市のテレワーク、ワーケーションの促進に寄与しているものと評価する。</p> <p>【今後の方針】 単年度事業のため終了。</p>	商工農水課
16	ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-(2)都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進	平時	那覇市テレワーク施設活用促進支援事業	10,000	<p>【実施内容】 市内にあるテレワーク推進施設に関するニーズ等の把握・分析、施設情報等の集約を行い広く発信するとともに、プロモーションを実施し施設の利活用や認知度を向上を図ることで、関係人口の創出や域内消費額の向上、ビジネス交流等による新ビジネス創出につなげていくことを目的に、当該情報収集業務やプロモーション等を委託により実施する。 ・予算額：10,000千円（委託料）</p> <p>【実績】 ・実績額：9,966,927円 ○本市に進出可能性のある県外の企業等へのアンケート調査の実施及び市内のテレワーク施設等を中心としたプロモーション動画を作成。調査結果分析によるテレワーク施設利用可能性の高い企業7,000社を選定し本市テレワーク施設に関するリーフレット配布及びPR動画についての周知を行った。</p>	<p>【評価】 本市へ進出する可能性の高い企業群に対し、効果的に市内のテレワーク施設に関する情報の周知・PRができたこと評価する。</p> <p>【今後の方針】 単年度事業のため終了</p>	商工農水課
17	ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-(3)都市型MICE受入の推進	平時	那覇市内で完結するMICE開催受入体制整理	—	<p>【実施内容】 ○那覇市観光協会等と意見交換を実施し、市内施設を活用した受入体制構築に向け検討を行っている。</p>	<p>【評価】 ・具体的な事業化にまで至っていないため、早い時期の体制構築の検討が必要。</p> <p>【今後の方針】 ・コロナ禍からの回復状況を見据え、民間事業者主体の受入体制構築を目指す。</p>	観光課
18	エ デジタル技術活用促進	エ-(1)観光関連事業者のデジタル技術活用を促進	平時	未実施	—	—	<p>【今後の方針】 ・国のデジタル関連施策の情報収集と、事業者への周知を検討。</p>	観光課
19	エ デジタル技術活用促進	エ-(2)デジタルマーケティングの推進	平時	那覇市観光統計調査の手法検討	—	<p>【実施内容】 ○人流データ分析やSNS分析等を実施する事業者へヒアリング実施。 ○①次期計画策定時の事前調査（データ収集） ②次期計画策定後、計画に掲げた指標・目標値などの毎年の進捗評価のためのデータを取得するために実施 が想定。</p>	<p>【今後の方針】 ・引き続き、デジタルマーケティングに関する情報収集を実施。 ・令和5年度における、次期観光基本計画策定事前調査における調査手法として検討する。</p>	観光課